

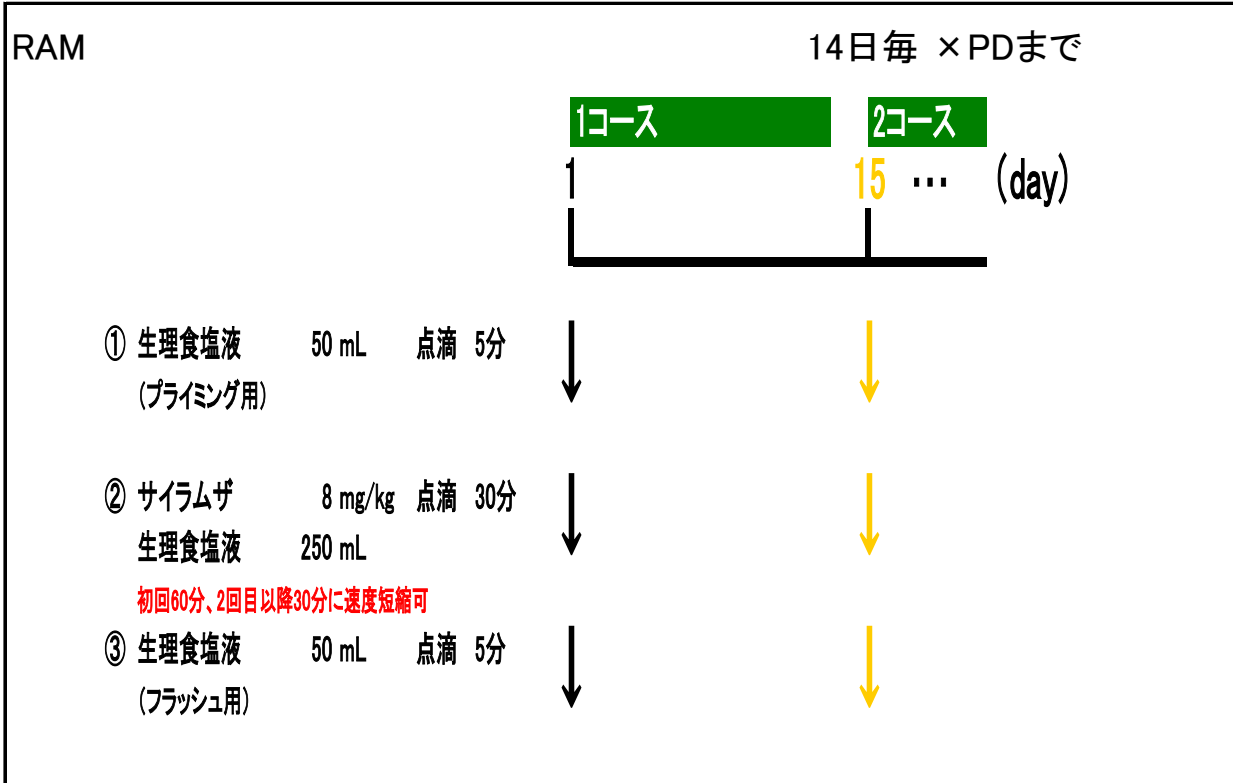
登録日 2019/7/23

レジメン名 Hepa002

腫瘍名 肝細胞がん

申請医師 消化器外科

投与スケジュール



注意事項

- 【投与上の注意】
- ・2次治療以降に使用
 - ・血清AFP値を測定すること(400ng/mL以上が本剤の適応)
 - ・Child-Pugh A に使用(臨床試験上の使用基準)
 - ・Grade1, 2のインフュージョンリアクションが出現した際、カロナールの追加やデキサートの増量、減速なども考慮する。
 - ・**サイラムザの溶解液は生食のみ使用(ブドウ糖と配合変化あり)。フィルターを使用する。**
 - ・サイラムザは室温保存(30℃以下)では4時間以内、冷所保存(2~8℃)では24時間以内に使用する。
 - ・サイラムザには創傷治癒遅延作用があり、**創傷治癒に影響する合併症の際には使用を中止する。**
- 【投与延期、減量基準】
- ・サイラムザの適正使用ガイドの延期、減量基準を参照すること。

参考文献

- 1) Lancet Oncol, 20, 282-296 (2019).
- 2) サイラムザ添付文書